



会派代表質問

Q & A

会派代表質問を行いました

3月5日に、会派を代表して行う「代表質問」を行いました。「創世会」、「アクティブマネジメント・公明クラブ」、「共に創る掛川」の3会派の代表議員が、市長の施政方針、新年度予算に関して質問しました。

創世会



質問者
二村 禮一

横須賀高等学校の存続活動は

Q 南遠地域教育環境整備推進協議会が立ち上がり、市の協力体制を得て南遠地域の教育環境を考える機運が醸成される中、横須賀高校の存続と候補地の先行取得について伺う。

A 土地を先行取得する考えはない
掛川市は、横須賀高校の新興構想高校への再編統合は、反対の立場です。それぞれの高校が存続し、ポストコロナ時代を見据えた、魅力ある高校づくりを進めていく必要があると考えています。横須賀高校の施設拡充のための土地を前もって用意する考えはありませんが、今後、必要に応じて検討していきます。



静岡県立横須賀高等学校

タブレット授業導入に伴う教員への研修指導は

Q 教員のICT活用指導力向上のために、デジタル分野などの知識やスキルを持つ外部人材登用を考えているのか伺う。

A 教育委員会の体制を強化していく
今年2月から、専門員を導入してタブレット端末の初期導入研修を進めています。外部の人材だけでなく、教育委員会の体制を強化するため、ICTの専門スキルに加え、教材、学習の内容についてアドバイスできる職員を派遣する体制を作っています。

コロナ感染者自宅療養での支援策は

Q コロナ感染者で、家庭内で自宅療養者の支援について伺う。

A 宿泊療養施設での療養となる
入院の必要のない感染者は、宿泊療養施設での療養となります。本人の事情で自宅療養となった場合にも、保健所が毎日健康観察を行い、自宅療養が困難と判断されれば、宿泊療養施設での療養を指導されます。